

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2015年9月16日 第41期 No. 6-470

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.net/wp/>

皆様お元気ですか？夏の猛暑が一転、8月半ばから長雨が続きました。すぐお隣の常総市の鬼怒川の氾濫はひどい被害になりました。お見舞い申しあげます。

## 高齢社会への対応を探る会

24時間365日 我孫子で安心して暮らすために～市民と行政の力をひとつに～

10月3日(土) 13:30～16:30

けやきプラザ2F ふれあいホール

新しくチラシを作りましたので配布します。

国は医療と介護の大改革を始めました。湖北台で、早くから訪問診療をされている佐藤明宏医師にお話いただきます。また、テレビでおなじみの淑徳大学教授、結城康博先生も今回の改革についてお話くださいます。是非ご参加ください。

## 市民のチカラ

～見て、聞いて、参加して～

日時 9月26日(土) 10:00～17:30

27日(日) 9:30～15:00

会場 けやきプラザ ホール及び1階、アビシルベ前(メッセ) 7階から9階(フォーラム)

市民活動ステーションの指定管理者ACOB Aによる「市民活動メッセ」と、我孫子市市民活動支援課が事務局の「我孫子のこれからフォーラム」が同日に行われるため、あちこちで賑やかな催しになっています。

我孫子市消費者の会は、2階のギャラリーで一つのブースをもらいました。「認知症でも安心して暮らせる地域を作ろう」で、来場の方の簡

単テストを行い、ご近所の見守り活動へのご理解も深めます。

また、まちづくり分科会での「あびこ市民活動サミット 2015～活動担い手高齢化の解決策はあるか～」にも協力します。

こちらは26日13:30～7階研修室で。

その他いろいろな催しがあります。お近くの近隣センター等においてあるプログラムを参考に、是非お出かけください。



## 東北を忘れない旅 NO.3 報告

毎夏、消費者の会の行事ではありませんが一泊旅行をしています。東日本大震災を受けてから、表記の旅にして今年は3回目、29名の参加を得て、福島浜通りへ行きました。

いわきから元高校の先生、「原発事故の完全補償をさせる会」事務局長の菅家新さんにバスに乗っていただき、檜葉町、大熊町、双葉町、浪江町をご案内いただきました。

帰宅次の日に、栗原さんがご自身のブログに書いていらっしゃるだったので、その中から抜粋させていただきます。お読みください。

### 東北を忘れないバスツアー

2015年8月26日(水) 栗原洋子

今年で3回目になるツアー、常磐道が通れるようになったので、初めて原発被災地の真ただ中に行ってきました。

「原発事故の完全賠償をさせる会」のメンバーにいわきから乗車をしてもらい、広野町、Jビレッジ、檜葉町、宝鏡寺(住職のお話を聞く)、

富岡駅前、大熊町、双葉町、浪江町まで6号線を北上してきました。途中福島第2原発や第1原発を遠方から確認（近くに行くことは許されていません）バス内の線量計がピピピピと高音を発する地域ではスピードを上げて通過しました。

常磐道だけは車が通行していますが、帰還困難地区は特別の許可がなければ入れません。帰還準備地域ではもっぱら除染作業に当たっている作業員や関係者の車両のみでした。

楡葉町が帰還準備地区（9月5日に解除）になったそうですが、最近のことなので、津波の被害を受けた建物が、そのままになっていて原発事故とのダブル被害のすさまじさを目の当たりにしました。

帰還困難地区で目についたのは除染物の黒いビニールの袋です。いたるところ、積み上げていてこんなに大量の汚染物を今後どうするのか疑問です。

またおびたしい「除染中」の旗と小型のトラクターです。日本中のトラクターが集結しているのではと思ったくらいです。

とにかくすべてが異常です。

現地を素通りしたたけですが、気の遠くなる作業量が必要とされていることを実感しました。

避難されている人たちにとっては「希望」よりも「絶望」感が強く出てくるのではないのでしょうか？

また帰宅困難地区では通行止めのフェンスと見張り役の姿をいたるところで目にしました。そんな場所ではバス中の線量計は5.8マイクロシーベルトを示していましたので、マスクだけの警備？の人たちは大丈夫なのかしら？と心配しました。

× × × × ×

補足 和田三千代

宝鏡寺のご住職のお話を40分程聞きました。この方も高校の先生だったそうです。原発が出来る前から、廃棄物の始末が出来ないものを作るのはおかしいと、原発の反対運動を続けてい

た方でした。

定年退職後、600年続いた寺の修復をし、やっと形が整ったところに、今回の地震だったと。原発の爆発で避難地区に。しかし、国は楡葉町を9月に避難解除地区に指定。補償を打ち切るために。除染をしたと言っても家のまわり20mだけ。子どものいる家庭は帰ってこない。地区に生活物資を売る店が整ったわけでもない。しかし帰る人が少しでもいれば、寺は帰らなければならない。除染したと言っても山は出来ない。雨が降れば放射能は流れてくる。

また、本尊は寺に置いていない。震災後、泥棒が多くて、帰還困難地区でも、夜に金目のものは皆盗まれたと。

そんな状態なのに、川内原発の再稼働をした。日本人は何を考えているのか！！と力のこもったお話をしてくださいました。

寺田さんの生まれた双葉町、育った浪江町は黒い袋の山、何も手が付けられていません。心が痛みました。

## 10・月・定・例・会

10月5日（月）13:30～16:00

我孫子南近隣センター 8F 第1会議室

県民提案事業の進捗状況

### 自己人生の文字書いてみませんか

日時 10月4日（日）14:00～16:00

会場 アビスタ・ホール

講師 堀井桃蓮（とうれん）さん

申込 7183-2789 濱田

主催 あびこ女性会議・我孫子市

### 手賀沼流域フォーラム

日時 10月17日（土）13:30～16:00

会場 水の館3F研修室

お話 「琵琶湖の保全から学んだ経験と世界への発信」 滋賀県職員 小松直己さん

「美しい手賀沼をめざして」 柏中央高校 安西朗さん

無料 ご参加ください。

